さや侍 (2011)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 103分
初公開日 2011/06/11
公開情報 松竹
映倫 G

【キャッチコピー】

鞘しか持たない侍とその娘、
30日間の戦い——。

【解説】

人気お笑い芸人・松本人志が、「大日本人」「しんぼる」に続いて手掛けた映画監督作第3弾。自身初の時代劇に挑戦し、ある理由からさやしか持たない侍が、脱藩の罪で捕まり、幼い娘と共に無罪放免を懸けた“三十日の業”に立ち向かう中で、次第に親子の絆が育まれていくさまを笑いと哀愁を織り交ぜ描き出していく。主演には、かつて松本人志が企画した深夜番組「働くおっさん劇場」でキモキャラ素人として強烈なインパクトを残した演技未経験の一般人、野見隆明氏を大抜擢。

ある出来事をきっかけに刀を捨て、さやだけを持つようになった武士、野見勘十郎。一人娘のたえを連れ、無断で脱藩し追われる身となっていた。しかしついに多幸藩の追っ手に捕らえられ、殿様の前に差し出される。ところが、変わり者で知られる殿様が勘十郎に処した刑は“三十日の業”。それは、母を亡くして以来、笑顔をなくした若君を、一日一芸で30日の間に笑わせられたら無罪放免、できなければ切腹というものだった。これまで多くの罪人が挑戦したものの、誰一人成功していなかった。勘十郎もあの手この手で笑わせようと奮闘するが、まるで手応えなし。そんな勘十郎の無様な姿に、たえの不満は募るばかり。すると、見かねた見張り番2人も芸を一緒に考え出し、勘十郎の挑戦を応援し始めるが…。

【クレジット】

監督	松本人志
製作代表	大崎洋 榎本善紀
企画	松本人志
製作総指揮	白岩久弥
プロデューサー	岡本昭彦
アソシエイトプロデューサー	小西啓介 仲良平
ラインプロデューサー	原田雅弘 鎌田賢一
アシスタントプロデューサー	松岡剛
脚本	松本人志
脚本協力	高須光聖 板尾創路 長谷川朝二

	江間浩司	
	倉本美津留	
撮影	近藤龍人	
美術デザイナー	愛甲悦子	
	平井淳郎	
美術制作	茂木豊	
衣装	本間邦仁	
衣装デザイン	宮本まさ江	
編集	本田吉孝	
音楽	清水靖晃	
音楽プロデューサー	日下好明	
演出補	志賀研介	
照明	藤井勇	
VFXスーパーバイザー	長谷川靖	
録音	岡本立洋	
スクリプター	山本亜子	
ヘアメイク	豊川京子	
装飾	茂木豊	
アクションコーディネーター	諸鍛冶裕太	
助監督	吉村昌晃	
キャスティングプロデューサー	元川益暢	
配給統括	野田助嗣	
うどんすすり指導	ほっしゅん。	
出演	野見隆明	侍（野見勘十郎）
	熊田聖亜	娘（たえ）
	板尾創路	倉之助
	柄本時生	平吉
	りょう	三味線のお竜
	ROLLY	ROLLY 二丁短銃のパキユン
	腹筋善之介	骨殺死 ゴリゴリ
	清水柊馬	若君
	竹原和生	坊主
	長谷川公彦	
	鳥木元博	
	吉中六	
	重村佳伸	
	安藤彰則	
	中村直太郎	
	寺十吾	
	石井英明	
	松本匠	
	岡田謙	
	京町歌耶	
	野口寛	
	伊武雅刀	家老